

長岡の高校生★応援マガジン

N-Koko

- 8 -
2019

長岡市姉妹都市交流参加生
長岡向陵高校2年

酒井 うらら



やらなかったら後悔するだけ。

やりたいことは、今やる！

”Nagaokaにゆかりの”Kokoro”生たちの「今」にスポットを当てる「N-Koko (エヌ・ココ)」。第4回は、長岡向陵高校の酒井うららさんです。

うららさんは昨年夏、姉妹都市・フォートワース市（アメリカ）で開催された「インターナショナルリーダーシップアカデミー」に参加。今年日本で開催する同プログラムに再び参加します。

うららさんには、国際交流に対する想いや趣味など、お話を聞きしました。

Q 国際交流プログラムに参加したきっかけは？

A お母さんも高校生のときにこのプログラムに参加したことがあって、勧められたんです。ずっと行ってみたいだったので、不安よりも楽しみという気持ちでいっぱいでした。

Q なぜ今年も参加を？

A アメリカに行くなら参加しなかったと思います。前回は振り返ると、アメリカの人に引っ張られることが多いプログラムでした。今年は日本開催なので、私たちが先頭に立って周りを引っ張っていきたいです。

Q 参加して変わったことは？

A コミュニケーションをとることを恐れなくなりました。プログラムでは、自分から人に話しかけないと置いて行かれるところがあるので、積極性も上がった気がします。やりたいことは、今やらなかったら後悔するだけ。もちろん失敗したら悔しいけど、やったことは残るんですよね。やるとやらないでは全然違うと思えるようになりました。

Q 今回の目標は？

A 友達をつくるのは大前提。1年経って英語もちよっとグレードアップしたと思うので、将来のことや自分の国の問題とか、深い考えまで一緒に話し合いたいです。

イベントガイド
EVENT GUIDE

◇学生平和交流プログラム in ホノルル

現地の学生と平和についてのディスカッションや戦跡の見学などを行います。

事前研修：10・11月に6回程度、ホノルル市訪問：12月5日(木)～10日(火)（4泊6日）

【対市】

内大学・高専・専門学校・高校生、市内在住・出身の大学・高専・専門学校・高校生（事前研修に参加できる人）

【定】4人

【選】

【日】9月15日(日)

【考】作文、英語、面接

【日】9月10日(火)までに国際交流協会 ☎ 39・2207へ

◇NAGAOKA 未来創造博

両日、花火の打ち上げもあります。

【時】8月10日(土)・11日(祝) 正午～午後8時30分

【場】千秋が原ふるさとの森

【内】市内企業・団体の展示

【コ】ナー、最新技術体験

【コ】ナー、飲食ブースなど

【問】長岡青年会議所・和田さん ☎ 080・4337・0506

【担】当

【機】構 ☎ 86・6008



▲昨年参加したプログラムの仲間と

Q 日常的に英語に触れるには？

A 海外の友達とのチャット。くだらないこととか、「会いたいね」みたいな日常会話をしています。あとは海外のYouTubeチャンネルを繰り返し見て、どこまで聴き取れるかっていうゲームを1人でやります(笑)

Q 趣味は？

A 歌うことが大好きで、部活も合唱部に入っています。フォートワースでも、泊まった大学にあったピアノを弾いてみんなと歌ったり、音楽を流して踊ったりしたのが楽しかったです。

Q 休みの日は何してる？

A 歌っている様子を撮って、自分で編集してSNSに投稿しています。洋楽もたまに歌うけど、ちょっとハードルが高いです。フォロワーの外国人が、自分の発音をどう思うか気になっちゃうので…(笑)

Instagram
@rara.wanttosing

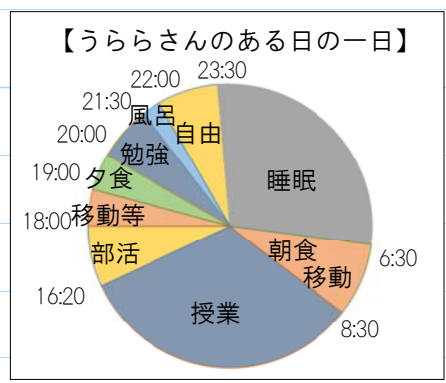
うららさんの歌声は
いちから♪

Q 好きなアーティストは？

A RADWIMPSの野田洋次郎さんの歌詞がきれいで好きです。SEKAI NO OWARIは中学生の頃からずっと追い掛けています。

Q 長岡の好きなところ

A 国際プログラムをたくさんやっているところ。中学2年生のときに長岡に転校してくるまでは、なかなかチャンスがありませんでした。長岡は選択肢が多くて嬉しいです。



Q 将来の夢は？

A 子どもが大好きなので保育士になりたいです。英語で本を読み聞かせたり、簡単な英会話を教えたり。ある程度保育士の経験を積んでから留学に行くのもいいなって思います。就職するなら長岡がいいですね。

取材を終えて

プログラムの研修後でお疲れの中、笑顔で対応してくれたうららさん。すべての話が英語と音楽につながっていて、自分らしさを大切にしていることが伝わりました。うららさんに英語を教わった子どもが、海外に興味を持って、同じプログラムに参加する未来があるかも？英語を活かした保育士という素敵な夢、応援しています！(M.U)

LINEで
毎月配信！



これは、数学で戦争を止めようとした男の物語。

—物語のカギを握る人物、その人こそ、館ひろしさん演じる長岡出身の山本五十六。

アルキメデスの大戦

The Great War of Archimedes

7.26 FRIDAY
ROADSHOW



菅田将暉

天才数学者・**權直** かいたたし

7月26日、映画「アルキメデスの大戦」がいよいよ全国で公開される。第二次世界大戦時の「戦艦大和建造」を巡る不正を“数学”で暴き、戦争を止めようとした男の物語だ。

原作は「ドラゴン桜」などを代表作に持つ三田紀房さんの同名マンガで、史実に基づいたフィクション。主演の天才数学者役を菅田将暉さんが演じ、監督を山崎貴さんが務める。



館ひろし

山本五十六 いそろく (長岡出身)

この映画の中で、後に連合艦隊司令長官となる長岡出身の山本五十六が、大和建造に反対し天才数学者を海軍に招き入れる、物語のカギを握る人物として描かれている。

国力の差から日米開戦に反対し、また次の戦争の主力を航空機であると誰よりも知り抜いていた五十六。今回、五十六役を「最も演じたい人物の一人」と語る館ひろしさんが、俳優人生初の丸刈りで演じた。



浜辺美波



柄本佑



笑福亭鶴瓶

©2019「アルキメデスの大戦」製作委員会 ©三田紀房／講談社

市政だより8月号(7月25日発行)では、館ひろしさんの特別インタビューを掲載(右から)。五十六への想い、役を演じるにあたって工夫した点など、ぜひご覧ください！

